

平成21年度以降に競争性のある契約に移行予定のもの

(独立行政法人名:国際農林水産業研究センター)

契約名称及び内容	契約職等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	移行困難な事由	移行予定年限	備考
X線光電子分光分析装置保守点検業務	独立行政法人 国際農林水産業研究センター 理事長 飯山 賢治 茨城県つくば市大わし1-1	平成20年4月1日	VGシエンタ株式会社 (東京都文京区本郷2-19-7)	会計規程第38条第1項第1号 契約の性質又は目的が競争を許さないとき	-	5,355,000	-	0人	同社は、本装置を製造したスウェーデン王国メーカーの日本代理店であり、装置の保守を確実に遂行するために必要な知識・技術を有しているとともに、補用部品の供給や修理技術者の派遣等に関し他の業者では提供できない実施体制を有している。	平成21年度	
平成20年度会計監査等業務	独立行政法人 国際農林水産業研究センター 理事長 飯山 賢治 茨城県つくば市大わし1-1	平成20年8月1日	新日本有限責任監査法人 (東京都千代田区内幸町2-2-3)	会計規程第38条第1項第1号 契約の性質又は目的が競争を許さないとき	-	5,408,400	-	0人	本監査業務は、第2期中期計画初年度にあたる平成18年度において総合評価方式により選定した業者であり、当法人の会計業務の特徴を理解しており、引続き契約を行わせることにより、継続的かつ的確な監査業務及び支援業務が行えるため同法人を選定した。	平成21年度	

(記載要領)

1. 本表は、「随意契約見直し計画」の対象となっている契約を対象とすること。
2. 本表は、平成20年度に締結した契約のうち、平成21年度以降に競争性のある契約への移行予定のものについて、当該契約ごとに記載すること。
3. 本表は、「公共調達適正化について」(平成18年8月25日付財計第2017号)記3. の記載方法に準じて記載すること。
4. 「移行困難な事由」欄は、平成20年度に競争性のある契約に移行できなかった事由を記載することとし、「移行予定年限」欄は、平成21年度以降の具体的な移行予定年限(例:平成21年度)を記載すること。

